

地球環境のために

私たちの環境に対する基本理念は“地球のことを考えて行動する”です。世界的な課題である気候変動や環境汚染について、社会の一員として積極的に取り組むことで環境保全に寄与するとともに、事業活動における環境負荷の削減についても常に検討し、行動を約束します。



2021 Topics

「ネット・ゼロ・エミッション」 達成へのコミットメント

米マクドナルド社より発表された「2050年までにネット・ゼロ・エミッション達成」について、日本においてもグローバルコミットメントに参加し、地球環境を守るための取り組みを引き続き行っておりまいます。



<https://www.mcdonalds.co.jp/company/news/2021/1006a/>



プラスチック製おもちゃの2R (リデュース・リサイクル) 強化

日本では2018年より各国のマクドナルドに先駆けて、遊ばなくなったハッピーセット®のおもちゃを全国の店舗で回収しリサイクルするプロジェクトを行っており、好評のため2021年からは通年で実施しています。

また2018年からは知育・徳育を鑑みて図鑑や絵本を導入しており、プラスチックの削減にもつながっています。

リデュースの取り組みとして米マクドナルド社が発表した「ハッピーセットのおもちゃにおけるプラスチックの削減」に参加し、化石資源由来の原料を新規に使用したプラスチックを2025年までに段階的に削減。サステナブルな素材を使用したおもちゃに移行します。



<https://www.mcdonalds.co.jp/company/news/2021/0922b/>



お客様提供用紙製パッケージを FSC®製品へ 100%切り替え達成

持続可能な環境の実現のため、マクドナルドでは原材料調達段階での負担軽減にも注力し、環境認証を取得した原材料の調達を推進しています。2021年にはお客様に提供するすべての紙製容器包装類およびトレイマットが、FSC証取得の製品に切り替わりました。



https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/environment/fsc_paper/

プラスチック資源循環促進法に 関連した取り組み

2025年未までに、お客様に提供するすべてのパッケージを、再生可能な素材、リサイクル素材または認証された素材に変更することを目標にしています。

プラスチック製のストローとカトラリーについては2022年2月より、横浜エリア30店舗で紙製ストロー・木製カトラリーを導入しています。この取り組みはプラスチック資源循環促進法に合致した活動となります。



https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/environment/paper_cup/

廃棄物対策

事業活動による環境への影響を減らすため、マクドナルドでは自らの廃棄物の内容を把握し、廃棄物の発生抑制や再利用、再生利用の対策を講じています。また、システムの改善や容器包装類における素材検討などを行うことで、環境問題の解決に向けたさらなる貢献に努めています。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/environment/madeforyou/>

総評

2021年は売り上げの増加（対前年比+10.7%）により廃棄物量は全体で増加（対前年比+10.0%）となりましたが、売上100万円あたりで見ると、食品廃棄物量は82.1kgとなり、前年の82.3kgより微減になりました。また、店舗での取り組みなどにより食品リサイクル率は向上し、60.2%に向上しました。プラスチック廃棄物量が前年を上回っていますが、2022年には全国導入を見据え、横浜エリア30店舗における紙製ストロー・木製カトラリーの導入を2月から実施し、ワンウェイプラスチックを削減する計画をしています。



2021年 廃棄物発生状況

※ 2021年12月末現在

全店の 食品・容器包装廃棄物量



売上100万円あたりの 食品・容器包装廃棄物量



エネルギー対策

地球温暖化や気候変動については、皆が自分のこととして取り組み、解決を目指す必要があります。マクドナルドでは事業活動におけるエネルギー使用量の削減を優先課題としており、環境負荷の最適化に努めるため、店舗でのエネルギー管理や省エネ機器の導入など、エネルギー使用削減の取り組みを継続的にを行っています。



https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/environment/power_efficiency/

総評

2021年のエネルギー使用量は増加（対前年比+2.0%）しましたが、省エネや高効率設備の導入等により前年比+10.7%の売上高の伸び率に比して低く抑えられています。

お客様千人あたりのエネルギー使用量は電気で4.0%減、ガスで0.4%減と前年を下回っています。

CO₂排出量は前年を上回りましたが、さらなる省エネや再生可能エネルギーの導入等を通して削減に努めています。

物流での取り組み

資材を運搬する際に使用するエネルギーを削減する取り組みとして、サプライチェーンにおける配送業務等の平準化・効率化、輸送の共同化、資材輸送のモーダル輸送化などを実施しています。

店舗での取り組み

従業員が店舗の機器の点検や清掃を決められたスケジュールに従って実施。メンテナンスを誰もができるようにカレンダー化された「ブランドメンテナンスシステム」を導入することで、機械効率を維持し無駄なエネルギーを削減しています。また現在、節水トイレや自動水栓の導入を推進するなど、水の使用量削減にも努めています。

2021年 エネルギー使用状況&CO₂排出状況

※ 2021年12月末現在

全店の種別エネルギー使用状況



お客様千人あたりの種別エネルギー使用状況



全体のエネルギー使用状況 & CO₂排出量



環境データ推移

環境にかかわる過去5年間の推移を6つのグラフで示しています。また、オーダーメイド方式によるメイド・フォー・ユーの導入を開始してからの完成品商品の廃棄量の推移を表しています。

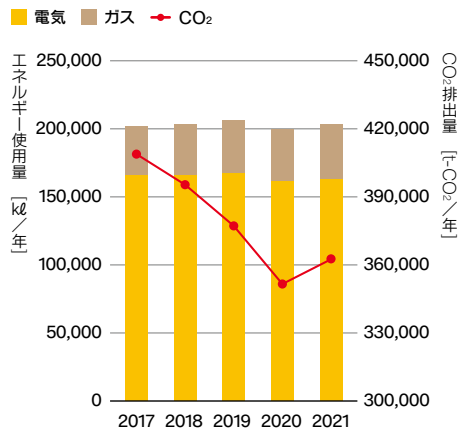
- エネルギー使用量とCO₂排出量
(全店・店舗平均・1000レジカウント原単位)
- 全店廃棄物排出量
- 売上100万円あたりの食品廃棄量 & 食品リサイクル率
- 全食品ロス量 & 売上100万円あたりの食品ロス量
- 売上100万円あたりの商品廃棄量

※ 2021年12月末現在



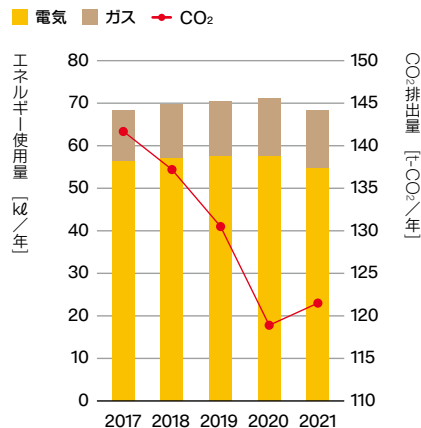
エネルギー使用量 & CO₂排出量

全店



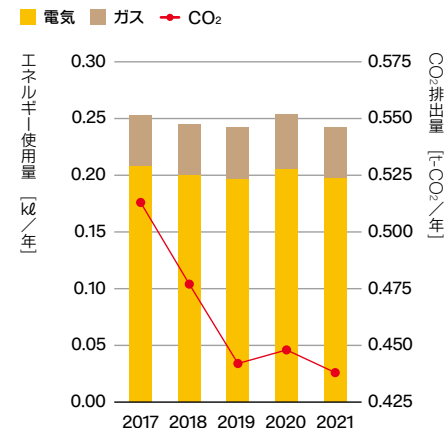
エネルギー使用量 & CO₂排出量

店舗平均

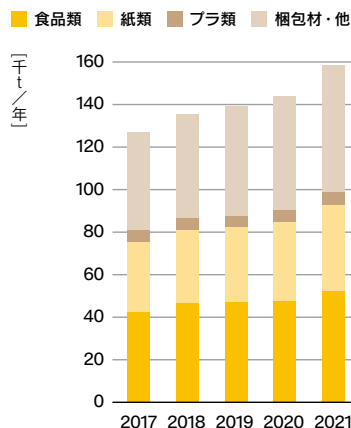


エネルギー使用量 & CO₂排出量

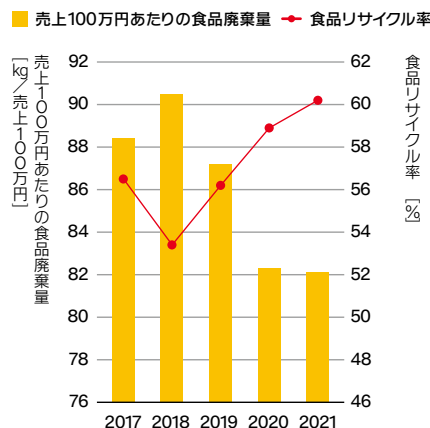
1000レジカウント原単位



全店廃棄物排出量

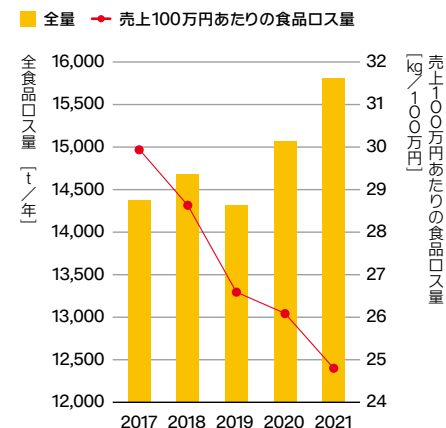


売上100万円あたりの食品廃棄量 & 食品リサイクル率

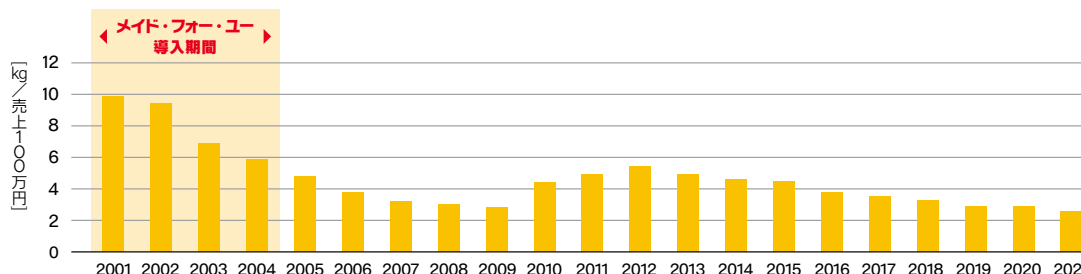


※ 食品リサイクル法に基づくファーストフード店の発生抑制目標値=83.3 kg/百万円

全食品ロス量 & 売上100万円あたりの食品ロス量



売上100万円あたりの商品廃棄量



メイド・フォー・ユーは注文を受けてから商品を作るシステムで、以前の作り置きシステムに比べ、完成品商品の廃棄量が大きく減少しました。